

学校目標・経営方針	一人ひとりの心に寄り添った学習活動を通して、基礎的・基本的な知識や技能の定着を図り、自信をもって様々な事柄に意欲的に取り組む態度を養い、社会の中で主体的に生きていくために必要な「生きる力」を育む。
-----------	--

山梨県立特別支援学校うぐいすの杜学園校長 伊藤 太一

本年度の重点目標	基礎学力の定着と学ぶ楽しさを感じることのできる授業の実践
	教職員の専門性の向上
	本校についての理解を深めていただくための取組の推進
	子どものこころサポートプラザ内他機関を含めた関係機関との連携推進

達成度	A	ほぼ達成できた。(8割以上)
	B	概ね達成できた。(6割以上)
	C	不十分である。(4割以上)
	D	達成できなかった。(4割以下)

評価	4	良くできている。
	3	できている。
	2	あまりできていない。
	1	できていない。

自 己 評 価			
本年度の重点目標		年度末評価(1月1日現在)	
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標
1	基礎学力の定着と学ぶ楽しさを感じることのできる授業の実践	合理的配慮の視点に立った授業づくり	・合理的配慮の適切な実施 ・学習上の困難さに応じたICT活用の推進 ・教職員間での支援方法の共有や連携
2	教職員の専門性の向上	研修会への参加促進と校内研究の充実	・やまなし教員等育成指標の各ステージに応じた研修の受講促進 ・各種研修会の情報提供 ・校内研究の推進 ・校内研修の計画的な実施
3	本校についての理解を深めていただくための取組の推進	災害発生時の一時避難所としての役割の確認	・一時避難所の運営に関する会議の継続 ・避難所運営マニュアルの作成 ・地元自治会との避難所運営に関する訓練の実施
		外部への積極的な情報発信	・HPの更新と双方向性の検討 ・地域便りの配布先拡大 ・研修会等での本校の実践発表
4	子どものこころサポートプラザ内他機関を含めた関係機関との連携推進	特別支援学校のセンター的機能の発揮とプラザ内連携の充実	・研修支援と訪問支援の実施 ・帯同支援の実施 ・関係機関が考える役割と関係機関に求める役割の確認 ・子ども心理治療センターと行う諸会議の目的の明確化と効率化
5	働き方に対する教職員個々の意識改革	会議、業務等の効率化の推進	・校務支援システムを活用した業務の効率化 ・業務分担の平準化

学校関係者評価	
実施日(令和 年 月 日)	
評価	意見・要望等

留意点 (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。  
 (2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。